

【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
- E: 未実施(0%)

I. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	29年度		実績	評価	30年度	31年度	32年度	33年度
		目標	実績			目標	目標	目標	目標
1. 地域の経済動向調査【指針③】	(1)関係機関・専門家等を活用した調査及び分析	6回	5回	地元の金融機関等と情報共有を図った。	B	6回	6回	6回	6回
	(2)刊行物等による調査及び分析	12回	9回	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、刊行物等の調査及び分析を行った。	C	12回	12回	12回	12回
	(3)小規模企業景気動向調査の活用	4回 30事業所	3回 30事業所	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、小規模企業景気動向調査の実態を把握	C	4回 30事業所	4回 30事業所	4回 30事業所	4回 30事業所
	(4)小規模事業者への情報提供と活用	4回	0回	日々の経営支援の基礎資料にしているが、情報提供までにはいたっていない。	E	4回	4回	4回	4回
2. 経営状況の分析【指針①】	(1)巡回指導等による経営状況の分析	40件	38件	巡回指導等において、各種助成金等の周知を行い、事業計画策定につなげた。	B	40件	40件	40件	40件
	(2)ネットde記帳を活用した経営状況の分析	20件	20件	ネットde記帳を活用し、経営状況の分析を行った。	A	20件	20件	20件	20件
	(3)小規模事業者経営改善資金等を活用した経営状況の分析	20件	20件	金融相談において、売上・原価率・自己資本比率・返済力について、資料の作成を行った。	A	20件	20件	20件	20件
	(4)専門家を活用した経営状況の分析	12回	6回	毎月1回を目標に、個別相談会の開催を行い、個社の事業計画策定に活用した。	C	12回	12回	12回	12回
3. 事業計画策定支援【指針②】	(1)専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催	12回 36人	8回 32人	専門家等を活用した事業計画策定説明会の開催を行い、事業計画策定の必要性の説明を行った。	C	12回 36人	12回 36人	12回 36人	12回 36人
	(2)事業計画策定までのアプローチ	30件	30件	窓口指導や巡回指導時に、個社の持続的発展のために個社の強み・弱み、市場のニーズ、個社に対するニーズなどの説明を行った。	A	30件	30件	30件	30件
	(3)事業承継・創業希望者に向けた事業計画策定支援	2件	1件	事業承継に向けた事業計画策定支援として、青年部員を対象に事業計画策定説明会を行い、後継者の育成に役立つ事業内容・財務内容について説明を行った。	C	2件	2件	2件	2件
	(4)小規模事業者経営発達支援資金等の活用	15件	6件	事業計画策定の支援を行った事業者に対して、小規模事業者経営改善資金等を活用し、事業計画遂行に必要な資金や数値計画策定等について支援を行った。	C	15件	15件	15件	15件
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】	(1)事業計画策定後の進捗管理	120回 23回	120以上 23以上	事業計画策定後の巡回訪問実績 巡回件数 658件(平成30年3月22日現在)	A	120回 23回	120回 23回	140回 29回	140回 29回
	(2)金融・創業支援後のフォローアップ	8件 1回10人	7件 0回0人	マル経幹旋 7件 4,480万円 創業の支援については、小規模事業者における後継者を対象に個別指導を行った。	C	8件 2回20人	8件 2回20人	8件 2回20人	8件 3回20人
5. 需要動向調査【指針③】	(1)バイヤー(専門店・百貨店)からの需要動向調査	30件 2回	0件 1回	事業初年度ということもあり、岩手県産(株)の首都圏アンテナショップ「いわて銀河プラザ」の関係者を商工会に招き、新商品開発等のヒントの聞き取りを行った。	D	30件 2回	30件 2回	30件 2回	30件 2回
	(2)物産展等でのアンケート調査による需要動向調査	1,000人 /2	678人 /2	首都圏のイベント参加者を対象に「東京都練馬区光が丘地区祭」や「東京都日野市産業祭」で、アンケート調査の実施を行い、消費者のニーズの把握を行った。	C	1,000人 /2	1,000人 /2	1,000人 /2	1,000人 /2
	(3)関係機関と連携した需要動向調査	2回	1回	事業初年度ということもあり、岩手県産(株)の関係者を商工会に招き、物産展等の商品状況、販売実績の情報の聞き取りを行った。	C	2回	2回	2回	2回
	(4)関係機関が発行する機関誌における需要動向調査	4回	0回	刊行物等の調査及び分析を行っているものの商工会のホームページで個社である地域内の小規模事業者に提供するまでにはいたっていない。	E	4回	4回	4回	4回
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1)展示会・商談会への事前研修等による支援	2回 1回	1回 1回	商談会等の出展にあたり、必要な知識、情報、ノウハウ等について、岩手県産(株)の首都圏アンテナショップ「いわて銀河プラザ」の関係者を商工会に招き、研修会を行った。	C	2回 1回	2回 1回	2回 1回	2回 1回
	(2)地域特産品を活用した個社の活動支援事業	2回	2回	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、今年度は日本酒等に特化した特産品パンフレットを作成し、紫波町の特産品のPRや事前に個社商品のPRを行い、地域内の小規模事業者の売上向上を図った。	A	2回	2回	2回	2回
	(3)関係機関との連携による個社の活動支援事業	2回	2回	伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し、首都圏のイベント「東京都練馬区光が丘地区祭」や「東京都日野市産業祭」に参加を行い、経費的な面から人力的な面まで販路開拓に寄与する支援を行った。	A	2回	2回	2回	2回
	(4)展示会・商談会等の参加者へのITを活用した販路開拓	1回 (10件)	0回 (0件)	ITを活用した販路開拓支援として、全国商工会連合会が運営するECサイト「ニッポンセレクト.Com」への出品動奨を巡回指導時に行っているものの企業登録や商品登録までにはいたっていない。	E	1回 (10件)	2回 (20件)	2回 (20件)	2回 (20件)

【紫波町商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》

- A: 目標を達成することができた(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)
- E: 未実施(0%)

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	29年度		実績	評価	30年度	31年度	32年度	33年度
		目標	実績						
1. 地域経済活性化事業	(1) 紫波町ブランドの確立と商品開発	1回	0回	紫波町ブランドの確立における特産品の商品開発については、岩手県産(株)と連携しながら特産品開発会議を実施しているものの、商品開発までにはいたっていない。	E	1回	1回	1回	1回
	(2) 中心市街地活性化事業を中心とする地域活性化対策	6回	3回	中心市街地活性化検討委員会を設けてはいるものの、今年度は会議の招集までにはいたっていない。紫波町の活性化に向け、観光客に向けた統一メニューの開発会議の開催への参加。(紫波ヒージョ)	C	6回	6回	6回	6回
	(3) 活性化イベントの見直しと充実	9回	7回	四季を通じての祭として「夏まつり」(8月)、「産業まつり」(10月)、「新酒まつり」(1月)、「びっくり市」(7月・2月)を主催・共催で実施している。	C	9回	9回	9回	9回

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	29年度		実績	評価	30年度	31年度	32年度	33年度
		目標	実績						
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1) 支援機関・金融機関との連携及び情報の交換	8人 4回	17人 4回	研修会や懇談会に積極的に参加し、で、得られた情報については、職員間で共有し、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	A	8人 4回	10人 4回	10人 4回	10人 4回
	(2) 専門家等との連携及び情報の交換	2回	2回	専門家派遣において、岩手県商工会連合会のエキスパートバンクなどと連携体制を確立し、専門家と共同で事業計画作成を行うことで、経営革新承認企業の増加等の成果・実績につながっている。	A	2回	2回	2回	2回
	(3) 『紫波町経営力向上会議』の設置	2回	2回	平成29年度は、『紫波町経営力向上会議』を初めて開催を行い各機関の支援ノウハウ、支援の現状等について情報交換を行った。	A	2回	2回	2回	2回
2. 経営指導員等の資質向上等	(1) 職種別の資質向上	-	-	全職員を対象に、岩手県商工会連合会の職員向けセミナー、中小企業基盤整備機構の各種セミナー等への参加や専門家派遣の同行・連携指導を通じて、資質向上に取組んでいる。	A	-	-	-	-
	(2) 職員間での情報・知識の共有と蓄積	随時	随時	毎朝職員間でミーティングを行い、本日の業務等を話し合い、お互いの指導・助言内容、情報などを共有し、会員支援に役立っている。	C	随時	随時	随時	随時
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1) 事務局での進捗状況の確認及び事業内容の検証	4回	4回	商工会の発達計画担当者により平成29年度の達成状況の確認を行うとともに、事務局や三役会において、進捗状況の確認及び事業内容の検証を行った。	A	4回	4回	4回	4回
	(2) 三役会での進捗状況の確認及び事業内容の検証	12回	9回		C	12回	12回	12回	12回
	(3) 理事会での評価・見直し方針の決定	4回	3回		C	4回	4回	4回	4回
	(4) 『紫波町商工会事業評価委員会』での評価及び検証	1回	2回		A	1回	1回	1回	1回
	(5) 会員・町への報告	1回	-	次年度(平成30年)の総会終了後、会員・町へ報告する予定である。	-	1回	1回	1回	1回
	(6) 事業結果の公表	7回	-		-	7回	7回	7回	7回

総合評価
C